

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

10

関連（環境課環境保全担当）

1 施策の概要

1-1 施策の名称	下水道			基本施策コード	1 2 6
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	環境課	評価票作成者 環境課長 森 弘和
1-3 総合計画における施策の体系	節	生活環境「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			
	項	水と緑の環境づくり			
1-4 施策の目的	清潔で文化的な生活環境の整備と川や池の水質の向上をはかるため				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているので継続する
- B : 施策推進の実手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期（平成18年度～平成22年度）			全期間（平成23年度～平成27年度）			指標の定義
		目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（%）	目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（%）	
	合併処理浄化槽の推進	7.0（%）	7.5	107.1	8.0（%）			合併処理浄化槽の普及状況を表す指標

2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	公共下水に接続不可能区域の新築住宅への浄化槽設置補助をさらに推進することが求められている。	補助制度の周知の徹底が必要である。	浄化槽補助事業として38基実施した。
平成19年度	"	"	浄化槽補助事業として41基実施した。
平成20年度	"	補助金制度の改正内容を周知させる必要がある。	浄化槽補助金交付要綱を改正した。
平成21年度	"	補助制度の周知の徹底が必要である。	浄化槽補助事業として38基実施した。
平成22年度	公共下水に接続不可能区域の住宅に合併処理浄化槽の設置を推進する。		
平成23年度	公共下水に接続不可能区域の住宅に合併処理浄化槽の設置を推進する。		
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

